

審査基準書（第一次審査）

■審査方法

システムの費用対効果、安定稼働の観点から、価格評価点においては構築及び令和9年3月31日までの運用に係る総経費を重視した配点とし、技術評価点においては、パッケージの標準機能を重視した配点としている。

また、優先交渉権者は、経費見積書審査、企画提案書類審査、機能要件一覧審査に基づく評価、プレゼンテーション審査の合計点で最高得点を得た事業者とする。なお、同得点の場合は、経費見積書における見積金額合計額の低い方を上位とする。

経費見積書審査、企画提案書類審査、機能要件一覧審査に基づく評価を一次書類審査とし、上位3事業者を二次審査（プレゼンテーション審査）の対象とする。

ただし、二次審査における最上位評価を得た事業者と2位以下の事業者の評価点に相当の差が生じた場合は、上位3事業者であっても以降の審査対象としないこともある。また、上位の事業者が辞退又は失格となったときは、次点の事業者を審査対象とする。

項目名	配点	審査名	合計
経費見積書審査	250	一次審査	1,000
企画提案書類審査	250		
機能要件一覧審査	250		
プレゼンテーション審査	250	二次審査	

■審査方法

(1) 経費見積書審査（配点250点）

次の計算式により算出し、小数点以下は第1位を四捨五入する。

【計算式】

価格点の配点×全参加者中最低の見積書合計額/当該参加者の見積書合計額

（例）

配点が250点、当該参加者の見積書合計額が20,000,000円、最低の見積書合計額が18,000,000円の場合
 $250 \times 18,000,000 / 20,000,000 = 225$ となり、得点は225点となる。

(2) 企画提案書類審査（配点250点）

別紙企画提案書類評価基準に基づき、各審査項目に対して評価点を付し、次の計算式により算出した結果を得点とする。

なお、各審査員の合計評価点の平均（小数点以下は第1位を四捨五入）を得点とする。

【計算式】

$250 \text{点} \times (\text{企画提案書類審査点数} / \text{企画提案書類審査点数の満点} < 100 \text{点} >)$

(3) 機能要件一覧審査（配点250点）

機能要件一覧の対応可否について、次の計算式により算出された結果を得点とする。

【計算式】

対応可否：○を3点、△を1点、×を0点として合計点数を算出する。

$250 \text{点} \times (\text{合計点数} / \text{機能要件一覧の満点} < 258 \text{点} >)$

企画提案書類審査基準

<②業務実績>

審査項目	審査基準	審査基準点(10点満点)				
		10点	8点	6点	4点	2点
団体等の同種業務の実績	契約期間が令和5年4月1日以降の地方公共団体が発注した、同種業務等の実績がある場合に加点する。	10団体以上	7団体以上 9団体以下	4団体以上 6団体以下	3団体以上 5団体以下	2団体以下

<③業務体制図>

審査項目	審査基準	審査基準点(5点満点)				
		5点	4点	3点	2点	1点
業務体制	十分な技術と経験を持った技術者で組まれた体制であるか、柔軟な対応が期待できる体制であるか	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

<④現状把握>

審査項目	審査基準	審査基準点(10点満点)				
		10点	8点	6点	4点	2点
現状把握	本市の各窓口の状況を十分理解しているか、提案内容を実施することにより解決しようとしている課題認識は十分か	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

<⑤提案概要>

審査項目	審査基準	審査基準点(10点満点)				
		10点	8点	6点	4点	2点
提案概要	機器やシステムに他社にない強みや特徴があり、業務フロー全体において市民の利便性向上および業務の効率化に資するか	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

<⑥業務内容>

審査項目	審査基準	審査視点	審査基準点(30点満点)				
			5点	4点	3点	2点	1点
システムの機能/性能	各種機器の性能等は高いものか 市民が見易いと感じるものか 職員が利用し易いと感じるものか	発券機、待合表示モニター(受付)	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分
		呼出操作端末(受付)、個別番号表示モニター	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分
		呼出操作端末(交付)、待合表示モニター(交付)	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分
		フロアマネージャー用端末、バックヤードモニター	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分
		業務日報機能、クラウドサービス機能	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分
		新庁舎建設に向けた基礎データ収集	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

<⑦操作説明会>

審査項目	審査基準	審査基準点(10点満点)				
		10点	8点	6点	4点	2点
操作説明会等	説明会などのフォローアップにより円滑に稼働することが可能か	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

<⑧アフターケア>

審査項目	審査基準	審査基準点(5点満点)				
		5点	4点	3点	2点	1点
アフターケア	保証や保守の提案内容を踏まえ、安心して使用可能なシステムか	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

<⑨障害、システムダウン対策>

審査項目	審査基準	審査基準点(5点満点)				
		5点	4点	3点	2点	1点
障害、システムダウン対策	システムの可用性確保の方法について、障害時の事前対策及び復旧対応について具体的提案があるか	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

<⑩スケジュール>

審査項目	審査基準	審査基準点(5点満点)				
		5点	4点	3点	2点	1点
スケジュール	提案スケジュールが過密ではなく実現可能なスケジュールとなっているか	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

<⑪その他追加提案等>

審査項目	審査基準	審査基準点(10点満点)				
		10点	8点	6点	4点	2点
その他提案	機能要件以外で創意を凝らした提案があり、かつ、導入目的の達成に有効であるか	極めて的確	良い	普通	やや不十分	不十分

審査基準書（第二次審査）

■審査方法

プレゼンテーション及びデモンストレーション並びにヒアリング結果により審査を行う。審査員は、プレゼンテーション審査基準に基づき各審査項目に対して審査点を付し、次の計算式により算出された結果を合計得点とする。

各審査員の合計審査点の平均（小数点以下は第1位を四捨五入）を、審査対象事業者の二次審査に基づく得点とする。

【計算式】

250点×(プレゼンテーションに基づく審査点数/プレゼンテーション審査の満点<100点>)

プレゼンテーション審査基準

No.	審査項目	審査基準	順位	配点
①	システムの充実度	システムの機能、操作性、機器の扱いやすさ等総合的な充実度が高いか	1位	20
			2位	10
			3位	5
②	システムの操作性	操作デモンストレーションの結果、発券、呼び出し等の一連の流れがわかりやすく操作できる作りのシステムとなっているか	1位	20
			2位	10
			3位	5
③	事業への理解	現在の発券機を導入していない状況から、本機器の導入により、窓口の混雑を解消し、「待たない」窓口の実現が図れるか	1位	20
			2位	10
			3位	5
④	コミュニケーション能力	全体的に質問に対する回答が明快かつ簡潔であるとともに、専門的、技術的な表現を判りやすく伝えているか	1位	20
			2位	10
			3位	5
⑤	取組み意欲・熱意	本業務に取り組む事業者及び担当者等の姿勢や意欲は信頼できるものであるか	1位	20
			2位	10
			3位	5